

KSKR

NO.159

題字：村田真子

みやこ

発行人／関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015
大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階

編集人／社会福祉法人みやこ
〒615-0031 京都市右京区西院高田町 20
TEL 075-321-8880 FAX 075-321-5588
ホームページ http://miyako-saiin.or.jp

2025

新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお祈り致します。

今年^みは十二支の巳年^{へび}が巳は蛇の^{こと}です。

蛇は脱皮する事から新しい事の始まる年とか、実を結ぶ年とも言われています。



今年^みはアメリカの大統領が変わり世界情勢が大きく変わるのではないかと懸念されています。

今までの価値観や社会の仕組みが大きく変わるのではないかと考えています。

科学技術の進歩で我々の生活もどんどん変化しています。私のような昭和生まれの人間はその進歩について行くのが大変です。しかし、世の中がどのように変化しようとも蛇年にあやかり、復活と再生へと皆様のお力をお借りしながら努めてまいります。

今年もよろしくお祈り申し上げます。



社会福祉法人みやこ理事長 石橋進一

一九九六年五月一日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

一九九六年五月一日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

頒価50円 会費に購読料を含む

- 第47回きょうされん全国大会 in 滋賀 2日間参加させていただきました。発達保障思想の源流の地「この子らを世の光に」先人達の活動が今生きている私たちの大きな力となり、味方となり、決して居心地の悪いばかりの社会ではないと感じています。人手不足、人材確保と厳しい問題の山積の中でも開会式までの準備等々、中学生、高校生、老若男女ボランティアの方々と先人達の思いがここには繋がっていました。

職員の感想

- 「働く」分科会のレポーターとして、仲間2名と参加しました。A型事業所として始まった缶入パン製造センター紹介や東日本大震災で缶入パンの需要が一気に広がった話、製造作業の動画を映して工夫や悩みも交えながら、誇りをもって仕事をしていることを伝えてきました。
- 何回か全国大会に参加させていただきましたが、仲間4人と一緒に参加したのは初めてでした。2日目の利用者交流の“くらす”という分科会で事前に仲間4人とテーマに沿って勉強会を行いました。“家事をしていますか”“家事で困っている事”“工夫している事”“楽しみ方”“チャレンジしたい事”など、一つ一つ質問し答えてもらいました。事前勉強会でそれぞれの家での役割や、頑張っている事など具体的に知る事が出来て良かったです。そして迎えた当日の分科会。大勢の参加者の中でちょっぴり恥ずかしそうにする姿、前のめりになって真剣に聞く姿、積極的に質問したり発言する姿など作業所で見せる姿とはまた違った様子が見られとても貴重な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



寄附

- 内山燃料興業(株)様
- 西院第二学自治連合会様
- 村上嘉啓様

ボランティア

- 小村直子様
- サークルたんぽぽ学生ボランティア様

きょうされん全国大会 in 滋賀

11月8日・9日にきょうされん全国大会がありました。
障害者権利条約について深く掘り下げた話や「福祉をデザインする」をテーマとした特別企画に参加しました。仲間や家族職員からの感想を載せさせていただきます。

仲間の感想

- きょうされん全国大会に行きました。一番驚いたことは震災で作業所が壊れて大変だと思いました。もし京都も同じことが起こったら大変だと思いました。あとはみんなと一緒に歌を歌いました。土曜日は他の仲間の話を聞きました。65才になった時の体験談を聞きました。仲間に来れることを聞き、自分の出来ることを答えました。楽しかったです。
- 全国大会に行ってきました。掃除の仕方やあとは休みの過ごし方を聞いて、僕は緊張して発表できなかったけど他の仲間が話していました。
- 初めてきょうされん全国大会 in 滋賀。緊張。人が大勢いました。店長も仲間がやっています。車椅子の店長もお店の中で会議しました。
- 最初は行ったことがなかったのでどんな雰囲気かなと楽しみにしていました。2日目の分科会では動画を見ながら製造の説明をしました。他の仲間とふれあえて楽しかったです。

家族の感想

- 渋谷フォントのデザインの話聞かせてもらって京都でも大掛かりなことができれば面白いなと思った。
- 一日目は、「発達保障の歴史とこれから」のテーマで白石恵理子実行委員長からお話を聞いてたくさんことを学ばせていただきました。その中で心を揺さぶられたことの一つは障害が重くて寝ている子を「寝ているだけで何も出来ない子」という見方ではなく、「寝ることの出来る子」とみる捉え方でした。今回は「この子らを世の光に」この言葉を遺された糸賀一雄さんの最後の講演を聞くことが出来ました。「人間関係」の土台には「共感の世界」がある、本当に共感出来るようになるには、「年季がかかる」このことを改めて心に留めました。二日目は「暮らし・住居」の分科会に参加しました。介護現場の厳しい状況の中でも一人ひとりに寄り添った支援の報告があり励みとなりました。仲間への豊かな支援のためには職員さんに仲間との関わりを楽しむゆとりが欠かせないと痛感しました。

みやこふれあいまつり 2024



仲間
ステージ

仲間ステージでは緑黄色社会の楽曲

「Me! a! (メウ)」をからだいっばいで表現しました。時間をかけて覚えたダンスはとってもかっこよかったです。



仲間太鼓

仲間太鼓は、開幕時と仲間ステージの2回披露しました。力強い太鼓の音色が会場の盛り上がりをもっとあげていました。みんな素晴らしかったよ!